

奉燈

日の暮る柳の本や啼蛙

福地 亀雀

子を寝かす添乳のまゝやはつ蛙

村 花山

時ありてより集るや猫の恋

青竹

そつと来る窓に月ありねこの恋

仙歌

雉子啼やほのく見ゆる山の峰

全

きじ啼や露と旭のうら表

桃李

雉子啼や通り過たる山の腰

岱青

曙に気味よききじの啼音かな

福地 其音

暮かゝる鐘を便りに霞かな

村 桃李

遠山の霞の中や杣が斧

白月

見る程に心も晴るゝ霞かな

福地 一笑

沖の帆の遠く並て夕霞

村 鶴声

霞む日やほのかに見ゆる不尽の山

勝寿

恋猫のいつより痛で戻りける

全

呼出していふやさしさや猫の妻

亀鶴

きゝ馴たやうでうるさし猫の恋

華山

朝露にしめる火繩や雉子の声

青竹

寝心によき夜に蛙啼にける

福地 一志

霞む日やほんのり見ゆる峰の松

村 万舌

催主

鶯の声の朝戸の静かな

桃李

新らしき直路の門(数)や花の山

仙歌

籠礼仏参を観て

鬼面を脱して見れば笑顔哉

井月